



門川町立草川小学校 校長室便り



草小HPへ
「QRコード」はソ
株式会社デンの登
録商標です。

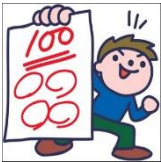


令和4年度 第6号 (令和4年11月15日発行)

R4教育目標 : 夢に向かって 自ら学び 心豊かな たくましい 草小っ子

12月1日のテストに向けて ~ テスト前にはテスト勉強をする習慣付けを ~

「前もってお客さんが来ると分かっていたら、家の玄関の掃除をする。」「前もって試合の対戦相手が分かっていたら、対戦相手を想定した練習をする。」「フルマラソンを完走しようと思えば、本番に向けて練習の調整をする。」というふうに、「12月1日にテストがあると分かっていたら、。。。。。」



12月1日に、県内の5年生は「みやざき小中学校学習状況調査」、町内の1・2・3・4・6年生は「標準学力検査 CRT」というテストに臨みます。今週からテスト前日までの半月間、学校ではテスト対策の時間（1・2年生：5コマ、3年生以上：7コマ）を設定して、長文を読んで答える問題や、条件に合わせて文章で答えたり説明したりする問題等にチャレンジさせます。正式なテストなので、時間も意識させながら、それぞれのクラスを複数の職員で指導に当たります。ご家庭にも、テスト対策用の宿題プリントや学校で取り組んだ問題のやり直し等を持って帰ると思いますので、本番で1点でも多く点数がとれるようにアドバイスをお願いします。

全国的にいじめ・不登校が増加 ~ 学校の取組 = 未然防止 + 解決策 + 解消の見届け ~

10月28日の新聞報道で、「本県不登校最多 2,308人」「いじめ全国6番目水準」という見出しが目に見え込んできました。これは、文部科学省が毎年実施している調査結果で、昨年度（令和3年度）分の結果が公表されたものです。特に気になった記事を、一部紹介します。

◆不登校（年間30日以上欠席）の児童生徒【小・中・高】

- 本県…2,308人（前年度比20.0%増）。小学生は561人（前年度比104人増）。
- 全国…244,940人（前年度比24.9%増で過去最多）。小学生は81,498人（全小学生の1.3%）
約10年前と比べて4倍近くに増加。不登校の理由は、①「無気力・不安」（49.7%）、
②「生活リズムの乱れ」（11.7%）、③「友人関係（いじめ除く）」（9.7%）。



◆いじめの認知件数【小・中・高】

- 本県…9,509件で、6年ぶりに1万件を下回ったが、1,000人当たりの認知件数は78.2件で全国6番目の多さ。小学校は8,351件（前年度比949件減）。具体的な行為としては、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」「仲間はずれ、集団による無視」など。
- 全国…615,351件（前年度比19.0%増で過去最多）。小学校は500,562件。
スマートフォンなどによるネットいじめが過去最多の21,900件。= きっと氷山の一角？

本県では、これまでも友達間での軽微なトラブルもいじめとして積極的にカウントし、解消に向けて全力で取り組むという方針で進めてきているため、いじめの認知件数（人口比）は毎年全国上位にあります。そのため本校でも、いじめや不登校の未然防止を最優先にしつつ、友達間のトラブルは些細なものでも積極的にいじめとして認知するようにしているため、毎月数件の事案が報告されています。

本校での最近の実態を見てみると、いじめや不登校問題の一因に、SNSやオンラインゲーム等が挙げられるような気がしています。SNSやオンラインゲーム上での会話の続きから学校で口論になったり、使用時間のけじめが付けられずに生活習慣が乱れて登校を渋ったりするケースが目立つようになってきています。これらの問題を未然に防ぐためにも、お子さんのSNSやオンラインゲーム等の使用について気になることがあれば遠慮なく担任までご相談ください。・・・スマホやゲーム等を買って与えることだけが親の役割ではなく、買った後の約束や指導、管理や制限を行うことこそが本当の親の役割や責任であり、子どものためであるということを再認識する必要があると思っています。

<本校のいじめ・不登校等の問題への対応（一例）>

- 月1回、「悩みアンケート」を実施し、自分または友達のことなどで気になることなどを記述させています。保護者に対しても、年1回「いじめアンケート」を実施しています。
- 学期1回、教育相談週間を設定し、個別の教育相談を実施しています。
- 月1回、職員会（対策委員会）を実施し、アンケート結果の情報共有や対策等の協議を行っています。
- いじめと認知した事案は、「解消された」と担任が判断した後も、3か月間は再発がないか見守り続けながら全職員で情報交換を行うようにしています。
- 朝の時間や給食時間等は、学級担任だけでなく、できるだけ複数体制で指導に当たるようにしています。

